第2回　評価委員会後の修正箇所一覧　　【資料1】

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
教育総務課・教育施設課	奨学金等支給経費	【加納委員長】修学の機会均等を達成するため、更なる充実に努められたい。 【伊室副委員長】・特に生活困窮の方々には、奨学金制度は希望です。 ・充実した奨学金制度を望みます。 【吹上委員】伊賀市の貧困率が全国平均よりも高いという数値を見ました。生活が大変な家庭が多いということですので、学習したいと思う子どもたちには、十分な支援を行っていただきたいと思います。 【上見委員】希望する生徒・学生が漏れなく申請できるように事前の周知を徹底されたい。	○生活困窮世帯の学生の希望である奨学金制度を充実させるとともに、希望する学生が漏れなく申請できるよう更なる周知に努められたい。	○奨学金制度の充実を図り、生活困窮世帯など希望する学生が漏れなく申請できるよう更なる周知に努められたい。
	情報化教育推進経費	【加納委員長】学習支援ソフトの整備に関しては、学校教育課との協議、連携の上、選定・導入に取り組まれたい。 【杉澤委員】児童生徒の学習に支障が生じることなく端末更新を完了したことを評価します。 今後は、文部科学省が開発中のAIアプリを注視しながら、導入する学習支援ソフト等の授業での活用方法や学習効果をモニタリングして、実効性を評価してください。	○学習支援ソフトの整備に当たっては、学校教育課と十分に協議・連携の上、選定・導入を進められたい。 ○児童生徒の学習に支障が生じることなく端末更新を完了されたことは評価する。今後は、文部科学省が開発中のAIアプリの動向を注視するとともに、導入する学習支援ソフト等について、授業での活用方法や学習効果をモニタリングし、実効性の検証に努められたい。	○児童生徒の学習に支障が生じることなく端末の更新を完了されたことは評価する。今後は、文部科学省が開発中のAIアプリの動向を注視するとともに、導入する学習支援ソフト等について、学校教育課と十分に協議、連携の上、授業での活用方法や学習効果をモニタリングし、実効性の検証に努められたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
教育総務課・教育施設課	一般管理運営経費（小学校・中学校）	【加納委員長】水難事故が報道される度に、義務教育における水泳指導の必要性を痛感する。プール設備の維持管理経費とプール授業民間委託事業拡大に向けた財源確保を進められたい。 【伊室副委員長】各校のプール管理について、維持管理経費を考えると検討時期に来ているように感じます。しかし、水泳授業は必要に思いますので、学校教育課と協議の上、方策を進めてください。 【杉澤委員】想定が及ばない水害が発生しています。文部科学省は次期学習指導要領の審議において、水泳指導の継続を検討しています。全国的な水泳指導の廃止、見直しの動きに合わせるのではなく、命を守る着衣水泳学習を取り入れた水泳指導の継続をご検討ください。 【吹上委員】プール施設の老朽化を見越して、徐々に民間委託の方向で動いているようですが、民間施設の数が少ないので心配です。今後の児童数に対して、すべての学校が民間による水泳指導ができるように、民間施設が足りないのなら市の施設を建設する等の将来の見通しを検討していってほしいです。 【上見委員】泳ぐ力の向上だけでなく、着衣水泳など水難事故防止の観点からも適切な指導を継続されたい。	○水難事故が報道されるたびに、義務教育における水泳指導の必要性を改めて認識する。プール施設の老朽化や維持管理経費を踏まえ、民間委託の拡大に向けた財源確保及び、民間施設の不足も見据えた将来的な対応について検討されたい。あわせて、泳力の向上に加え、着衣水泳など水難事故防止の観点を取り入れた水泳指導を継続されたい。	○水難事故が報道されるたびに、義務教育における水泳指導の必要性を改めて認識している。泳力の向上に加え、着衣水泳など水難事故防止の観点を取り入れた水泳指導を継続されたい。 ○プール施設の老朽化や維持管理経費を踏まえ、民間委託の拡大に向けた財源確保及び、民間施設の不足も見据えた将来の対応について検討されたい。
	スクールバス運転管理及び維持経費（小学校・中学校）	【加納委員長】スクールバス運行については、安全な走行を最優先するとともに、スクールバス以外の通学手段を検討される場合は、児童・生徒の安心・安全な登下校に十分配慮されたい。 【伊室副委員長】変更する場合は、保護者と充分協議を行ってください。 【上見委員】保護者と十分な協議を行い、利用児童・生徒の安全な通学に努められたい。	○スクールバス運行については、安全な走行を最優先するとともに、スクールバス以外の通学手段を検討する場合は、保護者と十分に協議の上、児童・生徒の安心・安全な登下校に十分配慮されたい。	○スクールバスの運行については、安全な走行を最優先するとともに、スクールバス以外の通学手段を検討する場合は、保護者と十分に協議の上、児童生徒の安心・安全な登下校に十分配慮されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
教育総務課・教育施設課	学校管理用備品整備事業（小学校・中学校）	【杉澤委員】学校の統廃合に伴う余剰備品の管理体制を検討して、備品の有効活用を推進してください。	○学校の統廃合に伴い発生する余剰備品について、管理体制を検討するとともに、有効活用の推進をされたい。	○学校の統廃合に伴い発生する余剰備品（特に理科教育施設備品）について、管理体制を検討するとともに、有効活用の推進をされたい。
	中学校クラブ遠征参加経費	【伊室副委員長】大会への出場は、生徒の活動の励みでもありますので、一定の補助は継続していただきたい。 【吹上委員】安全対策を含めた遠征費用の補助をお願いします。	○大会への出場は生徒の活動の励みとなるため、安全対策を含めた遠征費用について、一定の補助を継続していただきたい。	○大会へ出場することは、生徒にとって活動の励みとなるため、安全対策を含めた遠征費用について、補助の継続を望む。
	教職員住宅維持管理経費	【杉澤委員】本市の賃貸物件の家賃相場や三重県の教職員向け住居手当の支給状況等を調査して、教職員住宅の廃止も視野に入れてご検討ください。	○本市の賃貸物件の家賃相場や三重県における教職員向け住居手当の支給状況等を調査の上、教職員住宅の廃止についてもご検討いただきたい。	○本市の賃貸物件の家賃相場や三重県における教職員向け住居手当の支給状況等を調査の上、教職員住宅の存続について検討されたい。
	施設維持管理経費（小学校・中学校）	【加納委員長】老朽化に伴う校舎や施設設備の補修については、児童・生徒の学習活動の保障を最優先し、財源確保に尽力されたい。 【上見委員】資材や工事費が高騰中ではあるが、必要なものには支出されたい。	○老朽化に伴う校舎や施設設備の補修については、児童・生徒の学習活動の保障を最優先とし、資材や工事費が高騰する中であっても、必要な財源の確保に努め、必要なものには適切に支出されたい。	○老朽化に伴う校舎や施設設備の補修については、児童生徒の学習活動の保障を最優先とし、資材や工事費が高騰する中であっても、必要な財源の確保に努め、適切に支出されたい。
	施設改修事業（小学校・中学校）	【伊室副委員長】体育館の空調整備について、災害時の避難所機能を有するので、順次整備を行っていただきたい。	○体育館の空調整備について、災害時の避難所機能を有するので、順次整備を行っていただきたい。	○災害時の避難所機能を有する体育館の空調整備については、順次整備を実施されたい。
学校教育課	英語指導助手招へい経費	【吹上委員】小学校英語が始まって数年たちますが、中学校へ上がっても意欲的に英語学習ができるように、小中連携を十分お願いします。	○小学校での英語学習が始まって数年が経ちますが、中学校へ進学しても意欲的に英語学習に取り組めるよう、小中連携の充実をお願いしたい。	○小学校での英語学習が始まって数年が経過するが、中学校へ進学後も意欲的に中学校英語に取り組むことができるよう、小中の連携を強化されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
学校教育課	キャリア教育推進事業	【加納委員長】中学生の職場体験学習は、生徒が自身の学校生活を問い直す貴重な学習である。体験先として、地域の理解と協力が得られるよう、市行政における産業や福祉分野の担当部署との連携による支援を期待する。 　さらに、未来の伊賀市を担う子どもたちにとって、職場体験学習が、「伊賀市で生活して、伊賀市で活躍したい。」という展望につながることを期待したい。 【伊室副委員長】職場体験活動は重要に感じます。事業所と協議しながら積極的に進めていくことを望みます。 【杉澤委員】地元企業が生成AIをどのように活用しているのかなど、生成AI時代を生きる児童生徒のためのキャリア教育の在り方をご検討ください。	○中学生の職場体験学習は、生徒が学校生活や将来を見つめ直す貴重な機会であることから、地域の理解と協力を得ながら、事業所と協議しつつ積極的に推進するよう求める。実施に当たっては、市行政における産業・福祉分野の担当部署との連携による支援を図るとともに、地元企業における生成AIの活用状況等も踏まえ、生成AI時代を生きる児童生徒にふさわしいキャリア教育の在り方を検討されたい。さらに、この取組が、子どもたちの「伊賀市で生活し、伊賀市で活躍したい。」という将来展望につながることを期待する。	○中学生の職場体験学習は、生徒が学校生活や将来を見つめ直す貴重な機会であることから、地域の理解と協力を得ながら、事業所と協議しつつ積極的に推進するよう求める。 ○職場体験学習の実施に当たっては、市行政における産業・福祉分野の担当部署との連携による支援を図るとともに、この取組が、子どもたちの「伊賀市で生活し、伊賀市で活躍したい。」という将来展望につながることを望む。 ○地元企業における生成AIの活用状況等を踏まえ、生成AI時代を生きる児童生徒にふさわしいキャリア教育の在り方を検討されたい。
	人権同和教育推進事業	【加納委員長】各学校(園)における人権同和教育推進はもちろん、各中学校区においては、就学前の保育所・保育園も巻き込んだ人権同和教育推進を充実することで、家庭、地域とともに人権課題を共有して、その解決を図られたい。	○各学校（園）における人権同和教育の推進はもちろん、各中学校区においては、就学前の保育所・保育園も含めた人権同和教育の推進を一層充実していただき、家庭や地域とともに人権課題を共有し、その解決を図っていただきたい。	○各学校（園）における人権同和教育の推進だけでなく、各中学校区においては、就学前の保育所・保育園も含めた人権同和教育をより一層推進していただき、家庭や地域とともに人権課題を共有し、その解決を図られたい。
	学力向上推進事業	【加納委員長】家庭学習・読書活動について、意欲向上につながる学習内容や学校教育活動の一環としての読書時間の設定等、課題解決を図るための工夫に取り組まれたい。 【伊室副委員長】・「家庭での学習時間」を確保する家庭への働きかけが、一層の学力向上になるのではないでしょうか。 ・保護者の「家庭学習の充実」を期待します。 【杉澤委員】児童一人ひとりに応じた教育とICT機器を活用した自由進度学習を同義と捉えるのではなく、児童生徒の主体的な学習姿勢や自己調整学習の力を伸ばす探求学習の推進をご検討ください。 　環境を整えて子どもの主体的な活動を促す幼児教育を取り入れた小学校教育、小学校の自覚的な学びにつながる幼児期の遊びや活動を見通す保幼小連携の取組を各校で進めるためにも「伊賀市架け橋プログラム」の作成をご検討ください。	○家庭学習・読書活動について、児童生徒の意欲向上につながる学習内容の工夫や、学校教育活動の一環として読書時間を設定するなど、課題解決に向けた取組を進められたい。 ○家庭での学習時間の確保に向けて保護者への働きかけを強化し、家庭学習の充実を図られたい。 ○児童一人ひとりに応じた教育とICT機器を活用した自由進度学習を同義と捉えるのではなく、児童生徒の主体的な学習姿勢や自己調整学習の力を伸ばす探究学習を推進されたい。 また、環境を整えて子どもの主体的な活動を促す幼児教育を取り入れた小学校教育や、小学校での自覚的な学びにつながる幼児期の遊びや活動を見通す保幼小連携の取組を各校で進めるため、「伊賀市架け橋プログラム」の作成を検討されたい。	○家庭学習・読書活動について、児童生徒の意欲向上につながるような学習内容の工夫や、学校教育活動の一環として読書時間を設定するなど、課題解決に向けた取組を進められたい。 ○家庭での学習時間の確保に向けて保護者への働きかけを強化し、家庭学習の充実を図られたい。 ○児童一人ひとりに応じた教育とICT機器を活用した自由進度学習を同義と捉えるのではなく、児童生徒の主体的な学習姿勢や自己調整学習の力を伸ばす探究学習を推進されたい。 ○子どもの主体的な活動を促す幼児教育を取り入れた小学校教育や、小学校での自覚的な学びにつながる幼児期の遊びや活動を見通す保幼小連携の取組を充実するため、各校の「伊賀市架け橋プログラム」を毎年見直し、環境を整備されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
学校教育課	地域とともに学校マニフェスト推進事業	【加納委員長】各校における学校運営協議会が形骸化することのないよう、保護者や地域の代表の方とともに校区の課題を共有し、学校、家庭、地域の協働実現を図られたい。 【伊室副委員長】地域と学校との連携強化のため、各市民センターに配置されている「生涯学習支援員」の活用をされたらどうか。 【上見委員】児童・生徒の地域行事への参加を促進していただきたい。	○各校における学校運営協議会が形骸化しないよう、保護者や地域の代表の方々と校区の課題を共有し、学校・家庭・地域の協働の実現に取り組んでいただきたい。また、地域と学校との連携強化のため、各市民センターに配置されている「生涯学習支援員」を積極的に活用していただきたい。あわせて、児童・生徒の地域行事への参加を促進していただきたい。	○各校における学校運営協議会が形骸化しないよう、保護者や地域の代表の方々と校区の課題を共有し、学校・家庭・地域の協働の実現を図られたい。また、児童生徒の地域行事への参加を促進されたい。 ○地域と学校との連携強化のため、各市民センターに配置されている「生涯学習支援員」を積極的に活用されたい。
	読書活動推進事業	【伊室副委員長】・ますます本を読まない児童生徒の増加に危機を感じる。 ・「読書活動推進事業」は、児童生徒の学力向上等の一助になることと思っている。積極的に推進していただきたい。 【上見委員】家庭での1時間読書習慣の定着を図る取組を進められたい。	○児童生徒の読書離れの進行に危機感を持っており、「読書活動推進事業」を児童生徒の学力向上等の一助となるよう、積極的に推進していただきたい。また、家庭での1時間読書習慣の定着を図る取組を進めていただきたい。	○児童生徒の読書離れの進行に危機感を持っている。「読書活動推進事業」を児童生徒の学力向上等の一助となるよう、積極的に推進されたい。 ○家庭での1時間読書習慣の定着を図る取組を実施されたい。
	教職員研究研修経費	【加納委員長】教職員は、経験年数に関わらず、生徒指導や教科指導以外にも多種多様な業務に追われることが多く、指導力向上のための研修機会を確保できていない現状がある。教職員自身が、自ら求めて学ぶ機会を尊重し、指導力向上につながるための研修時間を保障されたい。 【伊室副委員長】・新規採用職員が、伊賀地域の学校に配置された後、伊賀市に引き続き在職希望が少ない状況と聞き、残念に感じる。 ・学校教育だけの問題ではないと思うが、洗い出しが必要に思う。 【杉澤委員】若手教員が先進的な教育に取り組む学校の授業を参観し、目指すべき授業の実相を捉えたり、授業改善の手がかりを得たりする研修をご検討ください。	○教職員は、経験年数に関わらず、生徒指導や教科指導以外にも多種多様な業務に追われ、指導力向上のための研修機会を十分に確保できていない現状があるため、教職員が自ら学ぶ機会を尊重し、指導力向上につながる研修時間を保障していただきたい。 ○新規採用職員が伊賀地域の学校に配置された後、伊賀市での継続勤務を希望しない状況があると聞いており残念に思うため、その要因について、学校教育に限らず幅広い観点から洗い出していただきたい。 ○若手教員が先進的な教育に取り組む学校の授業を参観し、目指すべき授業の実態を捉えたり、授業改善の手がかりを得たりする研修を実施していただきたい。	○教職員は、経験年数に関わらず、生徒指導や教科指導以外にも多種多様な業務に追われ、指導力向上のための研修機会を十分に確保できていない現状があるため、教職員が自ら学ぶ機会を尊重し、指導力向上につながる研修時間を保障されたい。 ○若手教員が、先進的な教育に取り組む学校の授業を参観し、目指すべき授業の実態を捉えたり、授業改善の手がかりを得たりする研修を実施されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
学校教育課	特別支援教育充実事業	【加納委員長】特別支援学級増設に伴い、特別支援学級担任や担当の教職員も増加している。ニーズにあった支援を行うことができるよう、教職員の指導力向上をめざした研修の充実を望む。 【吹上委員】質の高い支援員の配置に向けて、特別支援教育に携わる教員の質の向上はもちろん、支援員の研修等が必要だと思います。素人の方の配置も多いと聞いています。	○特別支援学級の増設に伴い、担任や担当教職員、支援員の配置が増加していることから、児童生徒のニーズに応じた支援が行えるよう、特別支援教育に携わる教職員及び支援員の資質・指導力向上に向けた研修の充実を求める。	○特別支援学級の増設に伴い、担任や担当教職員等の配置も増加していることから、児童生徒のニーズに応じた支援が行えるよう、特別支援教育に携わる教職員及び支援員の資質・指導力向上に向けた研修の充実を求める。
	生徒指導推進事業	【加納委員長】生徒指導上の課題については、未然防止や対応力につながる教職員の力量向上が不可欠である。そのため、児童・生徒理解を深めるための手法や理論を学ぶことで、表面的な理解にとどめることなく、子ども一人ひとりのくらしや願いを受け止めるきめ細やかな教育活動につなげられたい。 【吹上委員】情報機器（ゲーム、スマホなど）による問題行動は、家庭においても見えにくく、早期発見や解決が難しくなってきていると思われます。学校や家庭、関係機関と十分な連携のもと、子どもたちの健全な生活環境を提供してやりたいものです。	○生徒指導上の課題の未然防止や対応力の向上につながるよう、教職員の力量向上を図っていただきたい。そのため、児童・生徒理解を深めるための手法や理論を学び、表面的な理解にとどまることなく、子ども一人ひとりの暮らしや願いを受け止めるきめ細やかな教育活動につなげていただきたい。 ○情報機器（ゲーム、スマートフォンなど）による問題行動は、家庭においても見えにくく、早期発見や解決が難しくなっている。学校、家庭、関係機関が十分に連携し、子どもたちの健全な生活環境を整えていただきたい。	○生徒指導上の課題の未然防止や対応力の向上につながるよう、教職員の力量向上を図られたい。そのため、児童生徒理解を深める手法や理論を学び、表面的な理解にとどまることなく、子ども一人ひとりのくらしや願いを受け止めるきめ細やかな教育活動につなげることを望む。 ○情報機器（ゲーム、スマートフォンなど）による問題行動は、家庭においても見えにくく、早期発見や解決が難しくなっている。学校、家庭、関係機関が十分に連携し、子どもたちの健全な生活環境整備を図られたい。
	不登校児童生徒支援事業	【吹上委員】不登校児童生徒を持つ保護者のための相談会・学習会を実施していただいています。保護者への支援や対応は必須であると思います。そのために、関係期間との連携をさらに進めていただきたいと思います。	○不登校児童生徒を持つ保護者のための相談会・学習会を実施していただいていますが、保護者への支援や対応は必要不可欠と考えます。引き続き、関係機関との連携をさらに進めていただきたい。	○不登校児童生徒を持つ保護者のための相談会・学習会を実施しているが、保護者への支援や対応は必要不可欠であると考えるため、引き続き、関係機関との連携を強化されたい。
	外国人児童生徒支援事業	【杉澤委員】初期適応指導教室への送迎体制の確立に努めておられることを評価します。対面指導の効果は大きいと推測しますが、今後はオンラインによる指導も検討してはいかがでしょうか。	○初期適応指導教室への送迎体制の確立に努めていただいていることを評価します。対面指導の効果は大きいと思われますが、今後はオンラインによる指導についても検討いただきたい。	○初期適応指導教室への送迎体制の確立に努めていることは評価する。対面指導の効果は大きいと思われるが、今後はオンラインによる指導についても検討されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
学校教育課	部活動指導者配置促進事業	【加納委員長】部活動は、生徒にとって、得意とするスポーツや文化活動を仲間とともに活動し、自己実現を果たすことができる貴重な時間でもある。地域移行が進められつつあるが、放課後に実施されている部活動には、十分な配慮をされたい。 【伊室副委員長】・内部評価のとおり課題は人材の確保でしょう。 ・文化部の指導者は、地域に必ずおられると思います。関係部署と連携を図り、取り組まれたい。 【吹上委員】指導者の選定は大変難しいと思いますが、生徒たちの将来にとって大事なクラブ活動であると思いますので、よろしくお願いしたいと思います。	○部活動は、生徒にとって、得意なスポーツや文化活動に仲間とともに取り組み、自己実現を図る貴重な機会であることから、地域移行が進められる中にあっても、放課後に実施される部活動については、十分に配慮していただきたい。 また、課題は人材の確保であるため、文化部を含めた指導者の選定については、地域の人材の活用も視野に入れ、関係部署と連携しながら、適切に取り組んでいただきたい。 生徒の将来にとって重要な活動であることを踏まえ、引き続き丁寧な対応をお願いしたい。	○部活動は、生徒にとって、得意なスポーツや文化活動に仲間とともに取り組み、自己実現を図る貴重な機会であることから、地域移行が進められる中にあっても、放課後に実施される部活動については、十分に配慮し、丁寧な対応を望む。 ○指導者の選定については、地域の人材の活用も視野に入れ、関係部署と連携しながら、適切に取り組まれたい。
給食センター	給食センター管理運営経費	【加納委員長】学校給食の完全実施と給食費の無償化は、非常に大きな意義がある。19年目となる「いがっこ給食センター夢」について、設備の維持更新に尽力されたい。 【吹上委員】他市に先駆けての給食無償化は、大変評価できます。保護者の満足度も高いと思いです。また、地元産食材の活用が増えていることを、保護者や子どもたちにアピールすることで、食育推進につながると思います。給食回数も多く、大変かと思いますが、伊賀市でいただく満足な食は、子どもたちの将来に大きな力となるはずです。	○学校給食の完全実施と給食費の無償化は非常に大きな意義があるため、引き続き推進されたい。また、19年目を迎える「いがっこ給食センター夢」については、設備の維持更新に努められたい。 あわせて、他市に先駆けた給食費の無償化は高く評価できることから、保護者の満足度向上にもつながるよう、地元産食材の活用拡大について保護者や子どもたちへ積極的に周知されたい。食育の推進を図るとともに、給食実施回数が多い中にあっても、伊賀市の給食が子どもたちの将来に大きな力となるよう、質の確保に努められたい。	○19年目を迎える「いがっこ給食センター夢」について、設備の維持更新に努められたい。 ○他市に先駆けて実施した給食費の無償化は高く評価できることから、保護者の満足度向上につながるよう、地元産食材の活用拡大について保護者や子どもたちへ積極的に周知されたい。 ○食育の推進を図るとともに、給食実施回数が多い中にあっても、伊賀市の給食が子どもたちの将来に大きな力となるよう、質の確保に努められたい。
生涯学習課	人権教育推進事業	【加納委員長】中学校区地域ぐるみ同和教育総合実践活動として開催されている差別解消をめざした行事は、大変有意義な啓発活動である。継続されたい。	○中学校区地域ぐるみ同和教育総合実践活動として開催されている差別解消をめざした行事は、大変有意義な啓発活動であるため、今後も継続していただきたい。	○中学校区地域ぐるみ同和教育総合実践活動として開催している差別解消をめざした行事は、大変有意義な啓発活動であるため、今後も継続されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
生涯学習課	生涯学習推進啓発事業	【加納委員長】複数の市民センターとの連携が必要な中学校においても、生涯学習支援員を通じた学校地域連携が円滑に進むよう取組内容等を検討されたい。 【伊室副委員長】・各市民センターに配属される生涯学習支援員は、地域づくり、文化活動の指導者としての自覚を持っていただき、一層のスキルアップを望む。 ・地域と学校との連携のため、「生涯学習支援員」の活躍を望みます。 【上見委員】住民のニーズに合った事業で、参加者の満足度の高い事業を続けられたい。	○複数の市民センターとの連携が必要な中学校においても、生涯学習支援員を通じた学校と地域との連携が円滑に進むよう、取組内容等を検討されたい。 ○各市民センターに配属される生涯学習支援員には、地域づくりや文化活動の指導者としての自覚を持ち、さらなるスキルアップに努めるとともに、学校と地域との連携において一層活躍されたい。 ○住民ニーズに合った事業を実施し、参加者の満足度の高い事業を継続されたい。	○複数の市民センターとの連携が必要な中学校においても、生涯学習支援員を通じた学校と地域との連携が円滑に進むよう、取組内容等を検討されたい。 ○各市民センターに配属される生涯学習支援員には、地域づくりや文化活動の指導者としての自覚を持ち、一層のスキルアップを望む。 ○住民ニーズに合った事業を実施し、参加者の満足度の高い事業を継続されたい。
	青少年健全育成事業	【伊室副委員長】・青少年健全育成指導者の高齢化、人材不足は否めない。 ・どう解決していくかが問われる。 【吹上委員】青少年健全育成のためには、今の課題（例えば、ゲームやSNS漬けの生活など）を明らかにすることが大事だと思います。その中で、子ども読書活動推進計画の策定に期待します。	○青少年健全育成指導者の高齢化や人材不足の解決策を検討するとともに、ゲームやSNS漬けの生活など青少年を取り巻く課題を明らかにした上で、子ども読書活動推進計画の策定を検討されたい。	○青少年健全育成指導者の高齢化や人材不足に対する解決策を検討されたい。 ○ゲームやSNS漬けの生活など青少年を取り巻く課題を明らかにした上で、子ども読書活動推進計画の策定を推進されたい。
	放課後子ども教室推進事業	【加納委員長】様々なニーズに応じた子供たちの居場所は必要であるが、中学生の受け入れについては、そのニーズを確認された上で実施されたい。 【伊室副委員長】・「放課後子ども教室」へのボランティア参加が周知されていない感がある。 ・関係する自治協議会等に呼びかけ、指導者の掘り起こしを行っていく必要があると感じる。	○様々なニーズに応じた子どもたちの居場所の必要性は認めるが、中学生の受入れについては、事前にそのニーズを確認した上で実施していただきたい。 ○「放課後子ども教室」へのボランティア参加について、周知を徹底していただきたい。 併せて、関係する自治協議会等へ呼びかけ、指導者の掘り起こしを進めていただきたい。	○様々なニーズに応じた子どもたちの居場所の必要性は認識しているが、中学生の受入れについては、事前にそのニーズを確認した上で実施されたい。 ○「放課後子ども教室」へのボランティアによる参加について、周知を徹底されたい。また、関係する住民自治協議会等へ呼びかけ、指導者の掘り起こしを推進されたい。
	青少年センター運営経費	【杉澤委員】電話や面談による青少年相談活動に加えて、心理的ハードルが低いLINEやSNSを活用した教育相談もご検討ください。	○電話や面談による青少年相談活動に加え、心理的ハードルの低いLINEやSNSを活用した教育相談の導入を検討いただきたい。	○青少年センターにおいて、電話や面談による青少年相談活動に加え、心理的ハードルの低いLINEやSNSを活用した教育相談の導入を検討されたい。

所属	取組事業名	評価委員の意見	評価委員の意見（まとめ案）	評価委員の意見 （第2回委員会）
文化財課	文化財保存経費	【加納委員長】指定文化財をはじめ、貴重な文化財の調査や維持管理に尽力されたい。 【伊室副委員長】・県内最多の文化財がある伊賀市はそれだけ歴史文化が現存されていることになる。 ・貴重な財産を後世に継承していくための体制づくりが急務であると感じる。	○指定文化財をはじめ、貴重な文化財の調査及び維持管理に尽力されたい。 ○県内最多の文化財が現存する伊賀市の貴重な歴史文化を後世に継承していくため、体制づくりに早急に取り組まれたい。	○指定文化財をはじめ、貴重な文化財の調査及び維持管理に尽力されたい。 ○県内最多の文化財が現存する伊賀市の貴重な歴史文化を後世に継承していくため、早急に体制づくりに取り組まれたい。
	文化財保存事業	【杉澤委員】将来的に天然記念物指定が見込まれる動物、植物、地質などの自然物の調査、保存事業もご検討ください。	○将来的に天然記念物の指定が見込まれる動物、植物、地質などの自然物についても、調査・保存事業を検討いただきたい。	○将来的に天然記念物の指定が見込まれる動物、植物、地質などの自然物についても、調査・保存事業を検討されたい。 ○文化財を守るための施設整備や環境整備の充実を図られたい。
	文化財施設維持管理経費	【吹上委員】文化財施設活用が積極的になされていることは、観光客をも呼び寄せることができるし、市民にとってもうれしいことです。	○文化財施設の活用を積極的に進めていただき、観光客の誘致にもつなげるとともに、市民にとってもうれしい取組となるようお願いしたい。	○文化財施設の活用を積極的に進めることで、観光客の誘致や地域の活性化につなげ、市民が誇れるような取組を推進されたい。
上野図書館	図書館管理経費	【加納委員長】・読み聞かせボランティアの募集拡大を検討されたい。 ・図書館司書の巡回により、学校図書館の整備が進み、特に中学校において生徒の居場所が充実しつつあることは大きな前進である。 ・伊賀市内各図書館の蔵書の拡大と充実を期待する。 【伊室副委員長】・運営業務を㈱図書館流通センターに委託することになったが、図書館の位置付けはあくまでも主体は行政であることであっていただきたい。 ・しっかりと運営の状況を管理し、活気ある図書館運営を行っていただきたい。 ・学校との連携のため、ビブリオバトル大会新しく取り組まれていることを評価したい。今後とも充実していただきたい。 ・読み聞かせグループ育成と学校との連携を今後も支援を望む。 ・読書感想文コンクールへの応募件数が増加したことは、評価したい。 【吹上委員】様々な取り組みを実施して、読書活動を活発化しようと努力いただいていることがよく分かります。学校教育との連携もされていますが、読書する時間が年々減少しています。小中学校だけでなく、幼児期からの家庭教育の中での読書活動も大事であると思います。保育幼稚園課や子育て関係部署との連携による取り組みも必要ではないかと思います。	○読み聞かせボランティアの募集拡大、育成及び学校との連携の支援を進められたい。 ○図書館司書の巡回により学校図書館の整備が進み、特に中学校において生徒の居場所が充実しつつあることは評価する。今後も、学校図書館の整備及び伊賀市内各図書館の蔵書の拡大・充実に努められたい。 ○図書館運営業務を株式会社図書館流通センターに委託した後も、図書館の主体はあくまでも行政であることを踏まえ、運営状況を適切に管理し、活気ある図書館運営を行われたい。 ○ビブリオバトル大会の新たな取組や読書感想文コンクールへの応募件数の増加は評価する。今後も学校との連携を深め、読書活動の充実に努められたい。 ○読書活動を活発化するための取組を進めるとともに、小中学校のみならず、幼児期からの家庭教育における読書活動も重要であることから、保育幼稚園課や子育て関係部署との連携による取組も検討されたい。	○読み聞かせボランティアの募集拡大、育成及び学校との連携の支援を継続されたい。 ○図書館司書の巡回により学校図書館の整備が進み、特に中学校において生徒の居場所が充実しつつあることは評価する。今後も、学校図書館の整備及び伊賀市内各図書館の蔵書の拡大・充実に努められたい。 ○図書館運営業務を株式会社図書館流通センターに委託した後も、図書館の主体はあくまでも行政であることを踏まえ、運営状況を適切に管理し、活気ある図書館運営を実施されたい。 ○ビブリオバトル大会の取組や読書感想文コンクールへの応募件数が増加したことは評価する。 ○小中学校のみならず、幼児期からの家庭教育における読書活動も重要であることから、保育幼稚園課や子育て関係部署との連携により、読書活動を活発化するための取組を推進されたい。